

第60回西日本実業柔道団体対抗大会実施における 新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針

主催 西日本実業柔道連盟

I. 基本的な考え方

参加する選手、監督、大会役員をはじめとする大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先事項と考え、公益財団法人全日本柔道連盟「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針」に準拠し大会運営を行う。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じた上で大会を開催する。具体的な感染拡大防止対策については、感染者が発生した場合の対応、事後処置などとともに、参加者及び関係者全員に周知徹底するものとする。

II. 感染拡大防止対策の概要

1. 大会の規模縮小について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開会式・表彰式の簡略化など、規模を縮小して大会を開催する。

また、選手関係者及び大会関係者の入場者数を制限し、試合場周辺の混雑防止をはかる。

2. 大会中止について

新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、連盟の委員長会議において、開催の可・否について最終判断を行う。

3. 入場制限について

(1) 観客

収容人数 50%の観客入場とする。

(2) 入場を認める選手・選手関係者

選手（補欠を含む）及び監督、連絡責任者1名とする。

(3) 入場を認める役員、係員、審判員（以下、大会関係者）

主催者が定める新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を必ず遵守することを条件とし入場可とする。感染防止対策を遵守できない者には、途中退場を求めることがある。

4. 新型コロナウイルス感染症のPCR検査実施について

(1) 検査の方法

すべての選手並びに監督・（但し、練習パートナーを兼ねる場合は監督、連絡責任者含む）は、各自がPCR検査を受け、受付時に陰性証明書または、「陰性」の検査結果を提出すること。

詳しくは「第60回西日本実業柔道団体対抗大会における健康記録表兼同意書・PCR検査陰性証明書などの提出について」を参照。

(2) 練習の制限

検査実施7日前より、所属（主に練習する場所）以外での練習を禁止すると

もに、練習相手を限定するなど、感染防止に努めることを求める。

なお、選手・選手関係者は、感染のリスクとなるような行動を自粛することを求める。

5. 「健康記録表兼同意書」等の提出及び検温の実施について

(1) 「健康記録表兼同意書」等の提出

すべての選手・チーム関係者・大会関係者（以下、全ての参加者）は入場時、「健康記録表兼同意書」の提出を求める。

(2) 検温の実施

すべての参加者は、入場時、検温を実施する。

(3) 入場の不可

「健康記録表兼同意書」等の提出に不備がある場合、また、記載内容に問題がある場合、検温にて異常が認められた場合は、主催者の判断により、大会への参加を認めない。

6. 参加者の入場（受付）及び試合前の練習について

(1) 入場（受付）

参加者の入場（受付）は、感染防止及び混雑防止のため、受付で時間を指定し、分散して行う。

(2) 試合前の練習

試合前の調整練習は、試合会場及び指定する練習会場で行うことができる。これら以外の場所での練習は禁止する。

(3) 試合場入場の制限

試合場へは、選手（補欠を含む）、監督1名が入場可能。

7. マスク着用について

すべての参加者に常時マスク着用を義務付ける。選手も試合中を除きマスク着用を義務付ける。

8. 手指消毒及び周辺施設等の消毒について

(1) 入場時の手指消毒

すべての参加者に対し、入場時に手指の消毒を行う。

(2) 入場後の手指消毒及び周辺施設等の消毒

入場後、会場内においても適宜手指の消毒を求める。そのため、消毒液を入り口各所に設置する。

(3) 試合前後の消毒

試合をする選手は、試合前後に手指及び足裏の消毒を行う。

(4) 試合会場（畳）及び練習会場の消毒

定期的に消毒を行う。

9. 身体的距離の確保等について

身体的距離を確保しての会場配置や待機場所の設置、参加者の動線等について、感染防止に配慮するとともに、参加者には、常時適切な身体的距離を確保し、行動するよう強く依頼する。感染防止に配慮した対策を講じる。

10. 試合前、試合中及び試合後の選手・選手関係者の行動について

(1) 試合前

- ①選手（補欠を含む）・監督は、自身の試合の2試合前に、待機場所に入り、指定された場所にて待機すること。
- ②係員より、目視にて柔道衣コントロールを受けること。
- ③各自手指消毒を行うこと。
- ④選手は試合開始前、試合場に移動後、マスクを外してビニール袋などにいれてから、IDカードとともに監督に預け、マットで足裏を消毒してから畳に上がること。

(2) 試合中

会場内において、大きな声での会話や応援等をしないこととする。特に試合中の監督による大声での指示や指導は感染防止対策のため認められない。

(3) 試合後

- ①試合終了後は速やかに退館すること。
- ②大会終了後の健康観察を続け、手指消毒等感染予防対策を徹底すること。

11. 開会式、表彰式について

開会式は入場制限を施して行う。表彰式については、入賞者のみを対象として行う。なお、入賞者への賞状等の授与については、別途案内する。

12. 柔道衣コントロールについて

(1) 柔道衣コントロール

選手を全員集合させて一斉には行わず、各試合前に待機場所にて、係員が目視で確認を行う。なお、係員が目視で確認して疑義が生じた場合は各試合場において審判員が測定器具を用いて検査を行う。

また、試合開始後に疑義が生じた場合は審判員が測定器具を用いて検査を行い規格に不適合と判断された場合は、試合開始前の検査の結果に関わらず「失格」となることを理解の上、選手・監督は責任をもって規格に適合しているか、事前に確認すること。

(2) 赤白帯

試合をする際の赤白を示す赤白の帯について、各チームが赤白それぞれの帯を持参することを義務付ける。基本的に新型コロナウイルス感染防止の観点から、主催者では準備しない。但し、これにより難しいチームは事前に連盟事務局に相談することとする。

13. 選手変更、代表者会議、審判会議について

選手変更は、PCR検査を行うことから大会要項14に定める例外を除いて大会前日の変更は行わない。

代表者会議は、集合しての開催はせず、事前に参加チームにメールにて案内する。

審判会議は、5月8日（日）9時より、体育館会議室で実施する。詳細は、審判員に別途案内をする。

14. 練習会場について

前日の練習会場を設けるが、チームごとに時間指定にて行う。(日程表参照)

15. 感染者が発生した場合の対応について

(1) 大会前日まで

①2022年5月7日(土)の時点で、所属柔道部や普段の稽古先が新型コロナウイルス感染症拡大による練習休止期間中でないこと。

※過去に新型コロナ感染症に感染したことがあり、今回の検査で陰性以外の結果であった場合、医療機関を受診して大会に出場可能と診断されれば、出場(参加)を許可する。その場合には、受付時に大会出場を許可する旨の診断書の提出が必要である。

②検査により陽性となった選手及び保健所等より濃厚接触者と認定された選手の大会出場は認めない。また、検査後、所属柔道部内及び家庭や寮など同居する人、身近な人に感染者が出た場合、検査で陰性が確認されていても大会出場は認めない。検査後発熱等体調に異常が生じた場合は、保健所等の指導に従うこと。

前日練習時、「①健康記録表兼同意書」及び検温において、異常が認められた場合は、主催者の判断により、参加を認めない。また、同じ所属選手については、協議のもと参加の可否を決定する。

(2) 大会当日

①大会入場(受付)時、「①健康記録表兼同意書」「PCR検査陰性証明書」及び検温において、異常が認められた場合は、選手・選手関係者については主催者の判断により、入場(参加)を認めない。また、同じ所属の出場については、協議のもと参加の可否を決定する。

②大会中に発熱等の症状を訴える者を確認した場合、退場を求める。ただし、選手・選手関係者については主催者が適切な対応をとる。

(3) 大会後

①すべての参加者は、大会終了後7日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、主催者に対して速やかに報告すること。

②選手が発症した場合は、所属責任者は、報告書を作成し全日本実業柔道連盟に提出すること。

③選手関係者及び大会関係者が、大会終了後7日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、すべての参加者にその旨を連絡する。

16. その他

(1) 試合会場内での水分補給以外の飲食は禁止とする。定められた場所以外で飲食する際は、周囲の人となるべく距離をとり、対面を避け会話を控えるとともに、飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップを使用し、共用はしないことを呼びかける。

(2) 館内は、定期的に換気を図る。(外気を取り入れる空調設備具備)

(3) 感染防止のための実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項について、適切な場所(受付、入口等)に掲示する。

- (4) 横断幕などを掲げることは禁止する。
- (5) 接触アプリ COCOA のダウンロードを推奨する。

17. 付記事項

この基本方針は、地元県市の行政機関及び施設管理者の指導ないし指示、(公財)全日本柔道連盟の指針の改定、コロナの感染状況等によって、改訂する場合があります。改訂の場合は連盟ホームページに掲載します。参加チーム確定後に改訂の場合は、各参加チームに案内致します。

以上